

黒潮

和歌山県看護協会 会報

第156号

令和3年8月発行

CONTENTS

- 令和3年度通常総会を終えて … 2
- 日本看護協会会長表彰を受賞して … 3
- 和歌山県看護協会会長表彰 …… 3
- 保健師のコーナー …… 4
- 助産師のコーナー …… 4
- 看護師のコーナー …… 4
- 地域連携のコーナー …… 5
- フレッシュナース …… 5
- COVID-19 感染管理認定看護師による
感染管理について
(トピックス 2021) … 6~7
- 医療安全数珠つなぎ …… 8
- 訪問看護ステーションだより … 8
- リレーエッセイ 友達の輪 …… 8
- 男の時短料理 …… 8
- 施設だより …… 9
- プレゼント …… 9
- 令和3年度 公益社団法人
和歌山県看護協会通常総会 …10
- 三職能合同研修会のお知らせ ……10
- 「看護職の倫理綱領」の案内 ……10
- 役員に就任して ……11
- 令和3年度
役員および各委員会名簿 ……12
- 和歌山県看護協会の動き ……12



介護老人保健施設 ラ・エスペランサ ▶ <施設だより> (9ページ掲載)



生きるを、ともに、つくる。

公益社団法人 和歌山県看護協会

発行所 公益社団法人 和歌山県看護協会

発行人 東 直子

〒642-0017 海南市南赤坂17番地 TEL.073-483-1005 FAX.073-483-1266

<http://www.wakayama-kangokyokai.or.jp>

和歌山県看護協会会員数

令和3年7月15日現在 登録者数

会員総数	6,293名
名誉会員	2名
保健師	135名
助産師	213名
看護師	5,815名
准看護師	128名

令和3年度通常総会を終えて

公益社団法人 和歌山県看護協会 副会長 竜田 登代美



会員の皆さまにおかれましては、平素から、和歌山県看護協会の事業推進にご支援ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症は未だ収束の兆しが見えず、社会の大きな脅威となっており、県内では、これまでに2,680人を超える(2021年6月末現在)感染者数が確認されています。医療従事者の方々をはじめ関係者、そして県民の皆さまのご努力により第4波がおさまり、ワクチン接種も進んでいます。しかし、今後変異株の出現等が危惧されることから、依然として予断を許さない状況です。そのような中、医療・看護の現場、感染症対策やワクチン接種等の最前線で尽力されている看護職の皆さまに心より敬意を表しますとともに感謝申し上げます。

この度、6月26日(土)に「令和3年度和歌山県看護協会通常総会」を看護研修センターにて、新型コロナウイルス感染症の現状を鑑み、会員の皆さまの安全安心を最優先し、規模を縮小し開催いたしました。当センター内に別会場も設け、視聴のみとなりますがWebによる参加も可能としたところ、会員数6,184名(2021年3月末現在)中、参加者数63名、役員20名、委任状4,840名(うちWeb視聴人数36名)、合計4,923名で決議事項、報告事項とも協議いただき承認されました。会員皆様のご理解ご協力で心より感謝申し上げます。また、12名の方が和歌山県看護協会会長表彰を受賞されました。誠にありがとうございます。そして、6月9日(水)の日本看護協会通常総会において、古川紀子前会長が日本看護協会会長表彰を受賞されました。心からお祝い申し上げます。

さて、少子超高齢社会の人口・疾病構造を見据えた社会保障制度改革は、2025年に向けて大詰めの時期を迎え、2040年に向けた制度改革へとシフトしています。少子超高齢化は待ったなしの課題であり、加えて昨年からは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、看護職の活躍に社会が目を向ける機会ともなり、健康・医療と生活、両方の視点を持った看護職への期待は高まるばかりです。

和歌山県看護協会におきましても今年度は公益社団法人となり10年目という節目の年を迎えます。「県民の健康な生活の実現」に貢献するため更なる事業の展開が求められています。引き続き、「看護の質の向上」「看護職が生涯を通じて安心して働き続けられる環境づくり」「人々のニーズに応える看護領域の開発・展開」を

使命に重点事業を以下のとおり6項目を掲げ、新型コロナウイルス感染症対応とともに推進してまいります。

1. 看護実践能力及び専門性の強化

教育計画に基づき新人看護職員研修はじめ、看護職のキャリア開発支援を推進します。

2. 働き続けられる環境づくりと人材確保定着の推進

ナースセンターを総合拠点に看護職員の届出制度の推進、復職支援、関係機関と連携した相談体制の充実を図り、働き続けられる環境づくりを推進するとともに、人材確保定着を図ります。

3. 県民の健康な生活の実現

看護研修センターを拠点に地区支部活動と一丸となり、看護週間や老人看護月間での情報発信、「まちの保健室」等を開催し、県民の健康増進に努めます。

4. 地域包括ケアシステムの構築と推進

人生100年時代を迎え、県民が住み慣れた地域で自分らしく安心して生活できるよう多職種連携を図り、関係団体、関係機関と連携強化しネットワークづくりを推進します。

5. 保健師活動の体制整備と機能強化

組織力アップを図り、健康長寿の延伸に向けた取り組みや地域包括ケアシステムを推進します。

6. 助産実践能力強化とその体制整備

専門性の強化を図り、母子のための地域包括ケアシステムを推進し、安全・安心な出産環境の体制整備に努めます。

新型コロナウイルス感染症対応の事業として、昨年度途中からの県受託事業「保健所体制強化事業」「看護師養成所等実習補完事業」を引き続き実施いたします。また、感染拡大時の医療の逼迫に対応すべく「宿泊療養施設における看護師による運営支援業務事業」も柔軟に計画しているところです。さらに、情報発信機能を強化するためホームページを充実させ、Webでの研修会を開催するなど、ICTを活用した運営を進めてまいります。

今年度も看護職能団体として、役員、各地区支部、各委員をはじめ、会員の皆さまとともに、各関係団体、各関係機関、行政とも連携を深め、県民の皆さまの健康と生活を支えるという社会的使命を果たしてまいりますので、ご支援ご協力の程、よろしくごお願い申し上げます。

日本看護協会長表彰を受賞して

古川 紀子

この度、栄えある日本看護協会長表彰を賜りましたことは身にあまる光栄とともに喜びと感謝の気持ちで一杯です。

ご推挙下さいました関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

長年お世話になった看護界に私なりに貢献できることがあるのではと考え、和歌山

県看護協会会長として6年間、会員の皆様のご支援・ご協力をいただきながら協会業務を推進してまいりました。

今後は、微力ではございますが、看護協会の更なる発展に向け応援していきたいと思っております。



和歌山県看護協会長表彰

表彰された皆さんの声を聞いてみました！

- ① 抱負・モットー
- ② 後輩に伝えたい一言



- ① 誠実に、粘り強く
- ② 等身大で、仲間とともに頑張ってください

和歌山県立なぎ看護学校 **釜坂 加寿恵**

- ① いつも明るく、元気に、前向きに
- ② 一期一会 一つ一つの出会いを大切に

日高川町役場 **尾崎 久美**

- ① 人にやさしく、感謝の気持ちを忘れない。
- ② 笑顔とチャレンジ精神を忘れずに！！

日本赤十字社和歌山医療センター **慈幸 奈美**

- ① なんとかなる 自分を信じますはやってみる
- ② 一日の終わりに今日の自分を振りかえろう！

国保野上厚生総合病院 **清水 多津子**

- ① 継続は力なり
- ② Love yourself 自分を大切にする

公立那賀病院 **藤本 美幸**

- ① 百聞は一見に如かず。必ず自分で見る
- ② 実践の中で学び取る力をつけてください

日本赤十字社和歌山医療センター **芝田 里花**

- ① 目的を見失わない
- ② 行動する時の気持ちを大切に。結果を変えるから

和歌山県立医科大学附属病院 **芝瀧 ひろみ**

- ① お世話になる全てに感謝の気持ちを忘れない
- ② チーム医療は「笑顔」と「思いやり」から

和歌山労災病院 **遠藤 栄理**

- ① いつも笑顔で平常心。何とかなるよ
- ② 体験したことは自分の宝。心と体を大切に

ケアサポートさくら 訪問看護ステーション **宮井 ひろみ**

- ① 前向きに考える
- ② くじけず 元気に 努力を惜しまず

西岡病院 **高垣 ふじ代**

- ① ピンチはチャンス！ いつも笑顔で
- ② 逃げずに、自分を信じてチャレンジを

ひだか病院 **小松 香世美**

- ① 患者さんに「ありがとう」と言ってもらえる看護を提供する
- ② 患者さんの「ありがとう」は看護師冥利に尽きます

新宮市立医療センター **藤澤 環**

保健師のコーナー

保健師職能委員
橋本保健所

辻 和真



昨年度より保健師職能委員に就任し今年度で2年目を迎えます。初めは保健師職能委員会ではどのような活動を行っているのだろうという状態からのスタートでしたが、委員会に出席する中で看護協会や職能委員長をはじめ委員の方々にご教示いただき多くのことを学ぶことができました。

私は平成31年度に保健師として和歌山県に就職し、今年で3年目になります。はじめはすべてのことが初めての経験で、日々学びのある毎日を過ごしてきました。その中で地域保健分野において保健師が担う役割の大きさや先輩保健師が築きあげてきたものの偉大さを実感し、やりがいをもって楽しく保健師活動を行うことができていると感じています。

昨年度からの新型コロナウイルス感染症の到来により、私の

所属する保健所では多岐にわたる感染症対応業務で日々業務に追われるという状況が続いています。また、今までは当たり前のようにできていた対人交流等は避けて行動することが求められるようになり私たちの生活様式も変化してきました。それに伴い、住民の健康課題や事業の実施方法のあり方についても少しずつ変化してきています。今後はコロナ終息後のことも視野に入れ、住民の健康課題解決に向けた保健師活動ができればと思います。

保健師職能委員としても皆様と一緒に保健師間また看護職間の連携強化を図りより良い地域づくりをおこなっていただけるよう努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いたします。

助産師のコーナー

助産師職能委員
紀南病院

山本 七瀬



助産師職能委員会では、①助産師のキャリアパス/助産実践能力習熟段階(クリニカルラダー)の普及と啓発 ②助産実践能力のためのキャリアアップ研修会の開催 ③地域母子保健活動の推進を目標に活動しています。昨年度は、COVID-19感染拡大のため、研修会の開催が難しい状況となりました。受講方法を検討し、WEB研修を同時に開催していく事で自宅でも研修を受講できるようにしました。今年度も、日本助産評価機構の承認を受けた研修会を開催する予定としています。

2020年はアドバンス助産師を初回認証された方の更新年でした。CLoCMIPレベルⅢ認証を取得したアドバンス助産師は5年毎の更新制となっており、当院では5名のアドバンス助産師が更新要件を達成し、認証されました。現在、8名のアドバ

ンス助産師を中心に、妊産褥婦や新生児に対し良質で安全な助産ケアの提供を目的とし、助産実践能力の維持・向上を図るべく助産外来や後輩育成の場で活躍しています。

私は、助産師職能委員の委員会活動に参加させて頂き、2年目となりました。県内外の職能委員と情報共有ができ、多くのことを学び、当院での助産ケアに活かすことができている。県内の分娩件数は減少していますが、支援を必要とする特定妊婦はたくさんいます。今後も、安心して妊娠・出産・育児ができるような地域を目指して活動していきたいと思っておりますので、ご協力よろしくお願いたします。

看護師のコーナー

看護師職能委員 I

看護師職能委員会 I 委員
東京医療保健大学

吉村 公一



看護師職能委員会 I の活動に参加させていただき2年目になります。看護師職能委員会 I の活動目標としては、①看護師長への支援・教育に関する取り組みの広がりに向けた情報提供・課題発見、②多職種協働時代における病院の看護職と他職種の連携や協働のあり方に関する情報収集・課題発見、③病院における看護職に関連した本会事業のトピックスに対するタイムリーな課題発見・意見集約、となっております。

昨年度は COVID-19 の影響を受け、企画されていた研修のほとんどを開催することができませんでした。今年度は、COVID-19 の感染対策を十分に留意しながら研修を開催できるよう取り組んでいきます。7月には「今さら聞けない感染対策」をテーマに准看護師研修会を開催します。准看護師以外の

看護職の方にも参加できるよう企画をしています。COVID-19 の感染対策の基本も学ぶことができますのでご参加のほどよろしくお願いたします。そして、昨年は開催することができませんでした「男性看護職交流会」を9月に、「看護管理者研修」を12月に開催する予定です。「看護管理者研修」は、昨年度実施しましたアンケートの結果を基に内容を考え計画していきます。

私は、看護師職能委員会 I のメンバーの中で唯一病院勤務をしていません。臨床で働く看護職の方が元気に日々の業務に前向きになれるためのお手伝いができればと思っています。今年度も本委員会へのご支援のほどよろしくお願申し上げます。

看護師職能委員 II

看護師職能委員会 II 委員・訪問看護ステーション連絡協議会
訪問看護ステーションフロムはーと 管理者

高塚 美都里



看護師職能委員 II の活動に参加させていただき、看護協会や委員の方々に暖かく教えていただきながら2年目を迎えました。委員会では、和歌山県の施設・在宅看護の質の向上に寄与できるよう、委員を含めた現場の声を反映させ、意見交換を行いながら研修の計画、立案を行い、研修を開催してい

ます。昨年度より猛威を振るっているコロナウイルスの影響もあり、中止した会議や研修もありますが、後半には看護協会の方々のご協力のもと、研修はハイブリット形式で、会議も9月から再開ができませんでした。

今年度では地域共生をテーマに、9月に「病院と地域をつなぐ看看連携」「地域共生の実現に向けて」を、また11月には看護師職能委員Ⅱの特色を生かし「介護施設の管理者のマネジメント」を、12月には「エンドオブライフケア」を予定しています。この研修では、前回受けた方も受けられなかった方も、学びを深めることができる内容となっています。そして訪問看護ステーション連絡協議会との合同研修として「多職種連携」から、現役のステーション管理者によるリハビリスタッフ

との協同ケアの実際と、難病患者さんが、どのようなサービスを利用しながら在宅生活を継続しているか、の二事例を通して、多職種、他事業所との連携の実際を知る機会になればと思います。前年度実施できなかった診療所で働く看護職の意見集約・課題発見を行う目的で、アンケート調査を実施する予定です。「在宅生活を支える看護職」として、日本看護協会により多くの声を届けられるような研修会を企画していきますので、皆様にご参加、ご協力頂きますようお願いいたします。

地域連携のコーナー

那智勝浦町立温泉病院

看護師長 姫野 美和



病院がある那智勝浦町は、青く光る海と多くの緑に恵まれた町です。周辺には歴史を感じることでできる熊野古道や那智の滝があります。また壮大な自然に囲まれた名湯に、港町ならではの生マグロが名産です。

那智勝浦町立温泉病院は昭和39年7月に地域医療を支えていくことを目的に開院し、平成30年4月に新築移転して今年で4年目を迎えました。

当院は主に回復期の役割を持つ120床の病院です。新病院開院と同時に広域の神経難病や脊椎損傷を対象とした「障害者病棟」を新設しました。近隣だけではなく、県外からも多くのリハビリテーションを目的とした入院患者を受け入れています。

当院のリハビリテーション科では障害や疾患の改善を目的として、時間と手間を惜しまず病室・廊下・階段・屋外とあらゆる

ところで訓練を行っています。また、退院時も必要があればご自宅に伺い、住宅改修の必要な箇所や生活上の工夫などをお伝えするようにしています。医師、看護師、セラピストとの連携を中心として、その人らしさをつなぐ退院支援・調整を心掛けています。

当院の地域医療連携室は総合受付の隣に配置され、ガラス張りでスタッフの様子が見えるようになっています。気軽に立ち寄りいただけるような環境作りに努めていて、顔が見える関係を大切に、日々多職種の方々と情報共有し連携しています。現在、コロナ事情で入院患者の面会が禁止となっているため、在宅ケアスタッフや家族が直ぐに情報を得られる窓口にもなっています。これからも、連携室は安心感に包まれたほっこりと笑顔になれる場所でありたいと思っています。

☆☆☆フレッシュナース☆☆☆



つくし医療・福祉センター
長谷川 夢月

看護師となり、早3ヶ月が経ちました。

入職時は、重症心身障害児者の方々と関わり方や応用力を必要とする看護に戸惑い、業務を覚えることに必死でした。しかし、先輩方が利用者さん一人ひとりに合わせた情報を丁寧に教えてくださり、少しずつ行えることが増え、利用者さんとの関わり方も理解できるようになってきました。

利用者さんとの関わりの中で、全力で感情表現を行っている姿を見ると、とても温かい気持ちになります。

周りの先輩方を見て、自分の未熟さを痛感する日々ではありますが、今後さらに看護師として向上できるように学びを深め、邁進していきます。



琴の浦リハビリテーションセンター 看護部
中川 仁助

看護師となり働き始めて3ヶ月となりました。

琴の浦リハビリテーションセンターでは様々な職種の人が連携して働いており、若いスタッフも多く、雰囲気も良いため楽しく働くことができています。初めての業務やわからないことも一から優しく教えていただき、出来る業務も増えてきました。看護の中でも患者さんの「ありがとう」という言葉がとても嬉しいです。

私は回復期リハビリテーション病棟に配属になりました。退院後の生活を意識した関わりが必要で、退院調整への関わりは、看護師の役割が大きくとても魅力を感じます。

まだわからないこともたくさんありますが、自分の目指す看護師像に近づけるように一歩ずつ頑張っていきたいです。



和歌山県立医科大学
附属病院 紀北分院
京極 恵理子

幼い頃より目指していた看護師となり和歌山で地域の役に立ちたいと思い、紀北分院に入職しました。

手術室に配属され、手術看護を実践していけるか不安もありました。

手術看護には、大きく器械出し看護と外回り看護の2つの役割があります。器械出しでは、手術の進行を読み、スムーズに器械を渡せると、大きな達成感があります。外回りでは、術前訪問を通して術前から患者と関わり、術中は麻酔下にある患者の安全は私が守るという責任感をもって担当しています。術後訪問では、無事に手術を終えて苦痛がなくなった患者の姿を見ると、やりがいを感じます。手術を受ける患者の1番近い存在として、これからも患者と関わっていきたいと思っています。

空間的ゾーニングと時間的ゾーニングを用いた 感染防止対策

独立行政法人国立病院機構 和歌山病院 感染管理者 牧内 優子

和歌山県で COVID-19 患者がじわじわ増加してきた 2020 年の 12 月下旬、いつ入院患者受入れ要請があるのかビクビクソワソワしながら和歌山病院では COVID-19 専用病棟で受入れができるように準備を進めていました。

年末、県内の COVID-19 患者増加に伴い当院は 2021 年 1 月 2 日、休日体制中に患者の受入れをすることとなりました。また受入れに伴い、COVID-19 専用病棟の看護師配置が必要なため、他病棟看護師の勤務調整を行いました。当院は軽症から中等症の受入れ病院でしたが、変異株による感染拡大時は無症状・軽症で来院された 20～40 歳代の患者の 60%強に CT 上すりガラス陰影があり COVID-19 の恐ろしさを実感しました。

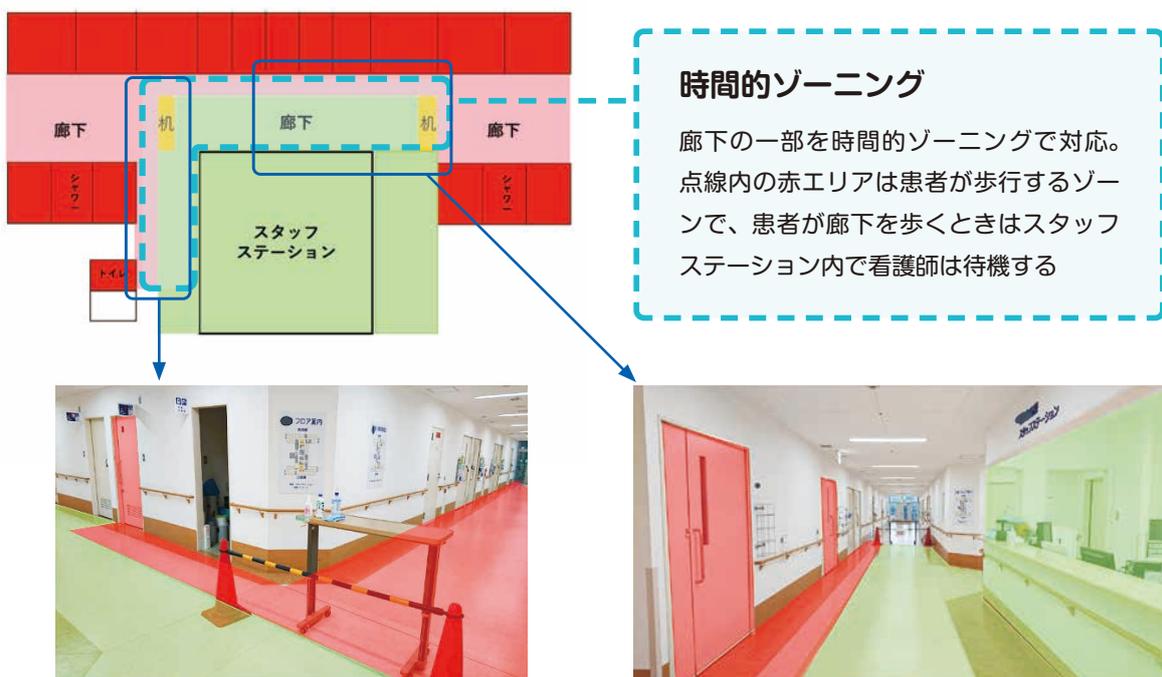
今回、受入れ患者の多くが ADL が自立している状況の当院での感染予防対策のゾーニング、入院中の対応、職員の対応について一部をご紹介します。

ゾーニング

病院や病棟の構造上、エリアで分ける完璧な空間的ゾーニングは行えないため、エリアにより使用する時間を分ける時間的ゾーニングを行っています。

病棟【COVID-19 受入れ病棟：8 床（2021 年 1 月）→28 床（2021 年 4 月）】

有料個室として使用していた個室はシャワーとトイレが備え付けられています。しかし総室はトイレがなく、重症個室として使用していた個室はシャワーもトイレも部屋に備え付けられていないため、病室の外に出てシャワーとトイレを使用する必要がありました。そのため廊下をテープで区切り、患者が歩くエリアを決めて対応しています。エレベーターは COVID-19 患者専用を 1 台設定し、他者は使用禁止としています。



外 来

以前より結核患者や発熱・肺炎患者の対応として、発熱や咳嗽のある患者と他患者が同じ場所で待機することがないように専用の診察室を使用していました。そのため、発熱者や呼吸困難者等の COVID-19 疑い患者の対応はそれほど難しいことではありませんでした。しかし動線を完全に分けることはできず COVID-19 陽性者の入院時間は午後に設定し、外来患者とできる限り接触がないように調整しています。

入院中の対応

COVID-19 患者担当前に全スタッフの個人防護具着脱のトレーニングを行い、入院受入れ初期は他者の監視のもと着脱を行っています。また実際に働く病棟看護師等と実行可能な方法を一緒に検討し、対応マニュアルを作成しています。以下はその一部です。

検 温	入院時は看護師が行う。体温計、SpO2モニター、時計を患者毎に配布し検温時間を決め患者に体温、脈拍、酸素飽和度の測定結果をナースコールで看護師が確認する
リ ネ ン	汚染がなければ入院期間中交換なし。交換時は看護師が病室で水溶性のリネンバッグに入れ、廊下で待機している看護師がビニール袋に受け取り、袋の外側を消毒してから洗濯へ提出
食 器	ディスポーザブルを使用し病室で廃棄 室内用のトレイを病室入口に準備し、看護師がトレイに配膳（ガウン不要）
シャワー	2室の個室をシャワールームとして使用 交代で使用するため、使用毎にこすらない浴室洗剤を使用し患者が清掃
C T 検 査	外来患者と接触することがないように時間調整を行う

職員の対応

休憩・食事	休憩室のレイアウトを変更し対面で食べない。食事以外の休憩時間もマスクを着用
更衣室	常にマスク着用。移動時用マスクと勤務時用マスクを分けて使用
シャワー	病棟で更衣・シャワーができるよう準備

これまでに約 150 名の COVID-19 陽性者を受け入れましたが、現在のところ院内感染はゼロです。感染予防対策実施には病棟以外にも放射線科、栄養管理室、委託業者（清掃・リネン）等あらゆる部門が関与しています。互いに情報共有を行い、一方的な対策にならないように注意して今後も感染防止に努めていきたいです。

医療安全

数珠つなぎ



北裏病院

鳥淵 和美

当院では、インシデント・アクシデントレポート報告書により、カンファレンスを行い原因を究明、改善策を考察し、再発防止に努めています。又、月1回の医療安全委員会にて検討を行っています。集計・分析を行うなかでは転倒・転落が多くを占め、高齢化が進むなか、未然防止策をより一層高めることに多職種連携して取り組んでいる状況です。

今後もスタッフ一同、情報共有し、医療安全能力の向上に努めていきます。

次回号に紹介させていただく方は、
ひだか病院 林 茂 様です

リレーエッセイ

友達の輪

Vol.67



国保野上厚生総合病院附属看護専門学校

専任教員 丹生石 浩世

専任教員になって、早いもので8年が過ぎました。最近、コロナ禍の影響で臨地実習が中止となり、初めて慣れないオンラインでの演習に取り組みました。千里の道も一歩からと言うようにまずは始めてみなければならぬと変わらぬ。新しい事を試みることは大変ですが、向上心を持って積極的にチャレンジしていきたいと思えます。

今回は、県立和歌山高等看護学院 助産学科の
かたまり かよ 片桐 佳代 さんをご紹介します。

訪問看護 ステーション だより



訪問看護ステーション 桔梗

長友 亮

訪問看護ステーション桔梗では、看護師10名、理学療法士4名、言語聴覚士2名、事務員1名のスタッフが在籍しており、看護師は24時間緊急対応を行っています。

訪問看護の場面で出会う笑顔には、苦痛が楽になった時の笑顔、心配や不安が解消された笑顔、訪問中ユーモアたっぷりの会話を楽しんでいる笑顔、ご自身でできることが増えて嬉しい笑顔、など色々な笑顔があります。病気や体の不自由さを持ちながらも、ご自宅で過ごしたい、という思いに寄り添って、より多くの笑顔の花を咲かせたいというのがスタッフ一同の願いです。

経歴、年齢もバラエティー豊かなスタッフが、知恵を出し合い、知識、技術を総動員してサービスを提供致します。ご自宅で、ご自身のペースで日常生活を過ごせるよう、専門職と相談しながらご支援致します。訪問看護、訪問リハビリについては是非ご相談ください。

第16回 男の時短料理

「鶏むね・もも肉の タンドリーチキン」

済生会和歌山病院 藪内 聖也



材料

- 鶏むね、もも肉 各1枚
- 塩コショウ 適量
- サラダ油 少量
- カレー粉 10g ☆
- ケチャップ 10g ☆
- 無糖ヨーグルト 45g ☆

作り方

1. 鶏肉を一口サイズにする
2. 袋に☆の材料、1の鶏肉を加えて揉み込む
3. フライパンにサラダ油を入れ弱めの中火で熱し、両面こんがり焼き色を付ける（鶏肉を入れる時は2のタレを軽く落とし、4の時に残ったタレをいれる）
4. 焼き色が付いたら蓋をして3分程蒸し焼きにする
5. 器に盛りつけて完成

施設だより

医療法人ヘルスケア和歌山 介護老人保健施設 ラ・エスペランサ

看護部長 福壽 和美



ラ・エスペランサはスペイン語で「希望」という意味です。平成6年に開設し今年で28年目になります。

老健は医学的管理の下、リハビリ技師による手厚いリハビリテーションが行われるのが特徴です。

当施設は入所161床・通所リハビリで合わせて9名のリハビリ職員がいます。看護師は20名・介護士が約60名勤務しています。

病院でしか働いたことのない私ですが、舅の介護を通し、これからの高齢者社会において、高齢者が在宅復帰できるよう、そして「治す医療」から「生活を支える医療」の必要性を感じ今年3月に看護部長として就任しました。コロナ禍での就職でしたが、感染対策への取り組みも早く、行動にも移されています。利用者さんは面会を禁じられていますが、令和2年6月にはZOOM面会も行われ、毎日のように複数のご家族の方が面会に来られています。

リハビリ室は2棟あり、個人に合ったリハビリを計画実施され、療養棟では看護師や介護士が立位訓練・歩行訓練なども行っています。高齢者の時間の流れにあわせた看護・介護が行われるのも老健施設ならではのと思います。レクリエーションも頻回に行われ、コロナ禍のため密にならないように工夫された楽しいイベントがたくさんあります

エスペランサに就職して多くのことに感銘を受けましたが、一番強く感じたのが「ラ・エスペランサの職員心得」という小冊子です。これは、希望に満ちたラ・エスペランサを職員の手で作りたいということで、職員が立ち上げ作成されたものです。基本理念の中に謳われている「まごころ介護」の実現に向けてこれからも精進していきたいと思えます。

第39回

プレゼント!

はがきに ①氏名 ②会員番号 ③郵便番号・住所 ④電話番号 ⑤勤務先名 ⑥本紙へのご意見・ご要望を明記の上、9月7日(火)までにお送りください。

(消印有効・1人1通のみ)

抽選の上、当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。

宛先

〒642-0017 海南市南赤坂17 和歌山県看護協会 「8月号プレゼント」係



「足まくら」

または

「クオカード」

1,000円分

5名様に!

どちらか1つ
当たります!

プレゼント
応募者の
声

- 毎号カラーで読みやすいです。楽しみにしています。
- 退院支援委員をしていて地域連携のコーナーを読んで、私を含め当院でも退院前後の訪問を行ってみたいと思いました。私たちの地域でも高齢者が多いので少しでも地域の方々を支えていきたいと思っています。

令和3年度 公益社団法人和歌山県看護協会通常総会



メイン会場



サブ会場

令和3年6月26日(土)に 通常総会を開催しました。

今年度は、始めてWeb視聴も可能としメイン会場のほか、サブ会場を設営し、各自施設や自宅での視聴も可能としました。Webでの視聴も含め、昨年度より多くの皆様にご参加いただくことができました。Web操作には課題もありますが今後も多くの皆様に参加いただけるようにしていきたいと思いをします。

三職能合同研修会のお知らせ

日時 ▶ 9月4日(土) 13:30～16:00
場所 ▶ 和歌山県看護研修センター大ホール
テーマ ▶ 「地域共生社会の実現に向けて」

受付開始(13:00～)
Web受付(12:45～13:15)

講師：和歌山大学経済学部 教授 金川 めぐみ先生
シンポジウム：各職能の立場で 座長 稲垣 伊津穂(名手病院)
保健師・助産師・看護師職能Ⅰ・看護師職能Ⅱそれぞれの立場で発表
意見交換

お知らせ

2021年3月「看護職の倫理綱領」が公表されました

日本看護協会が2003年に公表した「看護者の倫理綱領」は、公表から17年が経過し、看護を取り巻く環境や社会情勢が大きく変化していることから見直しを行い、2021年3月に「看護職の倫理綱領」として公表されました。主な改訂点は以下のとおりです。

1 名称について

タイトルを含め「看護者」を「看護職」の言葉に変更しました。



PDFで開きます。

2 構成について

1) 「前文」と「本文」の2つで構成

「看護者の倫理綱領」は「前文」「条文」「解説」の3つで構成していましたが、「看護職の倫理綱領」では「前文」と「本文」の2つで構成し、一体的な活用を勧めることとしました。

2) 本文中の用語に注釈を付記

概念が抽象的あるいは本邦に浸透していない用語として、「最高水準の健康を享受するという権利」「パートナーシップ」「ウェルビーイング」について、「看護職の倫理綱領」が読み手にとってわかりやすいものとなるよう「用語の注釈」を新たに追加しました。

3) 本文16の追加

近年、わが国では、自然災害が頻発し、平常時から災害発生直後、そして復興までの過程において生命と健康を守る活動が必要とされることから、相次ぐ自然災害における看護職の行動指針について、本文16として新たに追加しました。

* ご一読いただき、あらゆる場で活用していただけることを期待しています。

(日本看護協会ホームページから抜粋)



役員に就任して



和歌山県看護協会発展のため、自身の役割が果たせるよう努力して参ります。

書記長
小川 政予



公衆衛生看護を担う保健師が元気に活動できるよう取り組みます。

保健師職能委員長
中谷 秀美



助産師の助産実践能力向上と地域母子保健活動推進に取り組みます。

助産師職能委員長
沖 婦美代 (和歌山労災病院)



看護師に関連する情報をお伝えすると共に課題発見・意見集約に努めます。

看護師職能委員長 I
木村 和美 (和歌山県立医科大学附属病院)



在宅領域で働く看護職の資質向上と連携強化に取り組んでいきます。

看護師職能委員長 II
東 るみ子 (社会医療法人黎明会北出病院)



「今私達にできること」を考え、地区活動に貢献してまいります。

那賀地区理事 (支部長兼任)
岡田 樹美 (和歌山県立高等看護学院)



委員会メンバーと協力し、地域に貢献できるように尽力いたします。

和歌山地区理事 (支部長兼任)
芝瀧 ひろみ (和歌山県立医科大学附属病院)



コロナ禍において、安心・安全を第一に出来る事を考えていきます。

海南・海草地区理事 (支部長兼任)
清水 多津子 (国保野上厚生総合病院)



地区理事として皆様とともに役割が果たせるように尽力いたします。

新宮・串本地区理事 (支部長兼任)
栗原 久美子 (新宮市立医療センター)



客観的な視野をもって、監事の責務を遂行します。

監事
石本 千珠

水と、空気と、睡眠と。

東洋羽毛 睡眠セミナー無料サービスのご案内

よく眠った人には、かなわない。

——— 今よりもぐっすり、幸せな毎日のためのヒントがきっと得られるはずですよ! ———

睡眠セミナー講師を無料で派遣いたします。

東洋羽毛では「睡眠健康指導士」の資格を有した社員が講師を務める充実したセミナーをご用意しています。正しい情報を得て睡眠習慣を見直し、イキイキと健康的な毎日を歩むお手伝いをさせていただければ幸いです。

《お役に立てる主な研修》

- ★ 医療安全対策研修
- ★ メンタルヘルス研修
- ★ 学校保健委員会
- ★ 高齢者の睡眠ケア



東洋羽毛イメージキャラクター 桃井かおりさん



東洋羽毛関西販売株式会社

和歌山営業所 和歌山県和歌山市吹屋町3-44-2



フリーコール

お気軽にお問合せください。

0120-32-7766

令和3年度 役員および各委員会名簿

★印は委員長

役職名	氏名
役員	
会長	東 直子
副会長	田 登代美
副会長	岡 本 恭 子
専務理事	岡 室 優
常任理事	松 下 津也子
書記長	小 川 政 予
職能理事(保健師)	中 谷 秀 美
職能理事(助産師)	沖 婦美代
職能理事(看護師Ⅰ)	木 村 和 美
職能理事(看護師Ⅱ)	東 るみ子
地区理事(伊都)	西 未知子
地区理事(那賀)	岡 田 樹 美
地区理事(和歌山)	芝 瀧 ひろみ
地区理事(海南・海草)	清 水 多津子
地区理事(有田)	小 原 喜代子
地区理事(日高)	鳥 淵 和 美
地区理事(田辺)	廣 井 啓 子
地区理事(新宮・串本)	栗 原 久美子
准看護師理事	河 端 宴 子
監 事	黒 田 美也子
監 事	石 本 千 珠

職能委員会

保健師職能委員会	★ 中 谷 秀 美 辻 智 美 天 野 多 真 加 藤 真 弓 笹 井 涼 加 中 村 葵 美 西 村 尚 美
助産師職能委員会	★ 沖 婦美代 山 本 七 瀬 田 中 早 苗 山 口 雅 子 西 川 千 景 山 本 恵 子 西 川 祥 世
看護師職能委員会Ⅰ	★ 木 村 和 美 本 田 弥 生 岩 本 真 紀 吉 村 公 一 大久保 雅 和 堀 永 和 美 小 松 香 世 鈴 木 沙 知

役職名	氏名
看護師職能委員会Ⅱ	★ 東 るみ子 佐 藤 房 子 柏 谷 恵 子 森 かな江 玉 置 雅 祥 廣 畑 直 子 高 塚 美 都 里 子 角 敬 子

常任委員会

社会経済福祉委員会	★ 竹 中 武 馬 亀 井 宏 明 北 山 真由美 柴 田 周 子 千 原 律 子
教育委員会	★ 久 保 乃 英 須 崎 智 之 西 山 涼 子 糴 谷 博 子 大 江 陽 美 櫻 井 治 己 吉 井 奈 々 正 木 伸 明 武 内 龍 伸 福 木 島 治 美 上 田 伊 津 代 高 垣 なつみ
広報委員会	★ 川 口 佳 代 市 野 浩 美 並 松 都 紀 子 清 山 沙 紀 上 野 香 織 玉 置 美 和 森 口 奈 美 山 口 昌 子 辻 本 さちこ 西 山 恵 理 伊 都 香 岩 本 祐三子
看護研究学会委員会	★ 西 川 あづさ 北 科 ひ さ 藁 井 佳 代 田 原 かおり 邊 美 紀 向 友 代 武 田 み か

役職名	氏名
	横 芝 真 紀 二 河 繪 美 天 野 智 美

特別委員会

まちの保健室運営委員会	★ 藤 原 昌 子 小 本 英 美 福 川 政 予 湯 川 由 起 大 江 美 佐 子
ナースセンター推進委員会	★ 亀 井 美 都 子 上 碓 佳 恵 打 越 友 美 子 村 上 きみよ 山 東 明 子
認定看護管理者教育運営委員会	★ 小 松 香 世 美 廣 瀨 朱 実 名 越 民 江 坂 本 裕 美 子 向 井 君 子 上 平 置 代 弓 日 阿 部 真 雅 美 藤 原 亮 介 尾 崎 かおり 中 家 まゆみ 汐 崎 未 子
認定看護師フォローアップ委員会	★ 阿 部 真 雅 美 藤 原 亮 介 尾 崎 かおり 中 家 まゆみ 汐 崎 未 子
和歌山認定看護管理者会	★ 仲 澤 妙 美 角 谷 知 恵 美 中 尾 ひろみ 北 垣 郁 子 魚 崎 操 美 尾 崎 裕 美 山 崎 静 香 東 山 昌 代 宮 本 靖 代 植 田 啓 子 赤 松 信 也 岡 地 美 代 下 前 ゆかり 廣 畑 直 子 本 田 弥 生 高 岸 壽 美 廣 瀨 朱 実 西 嶋 美 栄 三 澤 伸 恵
推薦委員会	★ 山 崎 昌 代 東 宮 本 靖 代 植 田 啓 子 赤 松 信 也 岡 地 美 代 下 前 ゆかり 廣 畑 直 子 本 田 弥 生 高 岸 壽 美 廣 瀨 朱 実 西 嶋 美 栄 三 澤 伸 恵
選挙管理委員会	★ 廣 畑 直 子 本 田 弥 生 高 岸 壽 美 廣 瀨 朱 実 西 嶋 美 栄 三 澤 伸 恵

その他委員会

和歌山認定看護管理者会	★ 仲 澤 妙 美 角 谷 知 恵 美 中 尾 ひろみ 北 垣 郁 子 魚 崎 操 美 尾 崎 裕 美 山 崎 静 香 東 山 昌 代 宮 本 靖 代 植 田 啓 子 赤 松 信 也 岡 地 美 代 下 前 ゆかり 廣 畑 直 子 本 田 弥 生 高 岸 壽 美 廣 瀨 朱 実 西 嶋 美 栄 三 澤 伸 恵
推薦委員会	★ 山 崎 昌 代 東 宮 本 靖 代 植 田 啓 子 赤 松 信 也 岡 地 美 代 下 前 ゆかり 廣 畑 直 子 本 田 弥 生 高 岸 壽 美 廣 瀨 朱 実 西 嶋 美 栄 三 澤 伸 恵
選挙管理委員会	★ 廣 畑 直 子 本 田 弥 生 高 岸 壽 美 廣 瀨 朱 実 西 嶋 美 栄 三 澤 伸 恵

令和3年度 第1回理事会

日 時 / 令和3年5月25日(火) 13:30～16:00
場 所 / 看護研修センター 大ホール

I. 協議事項

- 令和2年度事業実施報告(案)について承認
- 令和3年度和歌山県看護協会役員及び推薦委員について承認
- 令和4年度日本看護協会代議員及び予備代議員について承認
- 常任・特別委員の諮問事項について承認
- 令和2年度決算報告並びに監査報告について承認

II. 報告事項

- 日本看護協会主催会議報告
- ナース章受章候補者の推薦について
- 県内関連団体会議参加報告
- 会員数について
- その他

令和3年度 第2回理事会

日 時 / 令和3年6月30日(水) 13:30～14:30
場 所 / 看護研修センター 研修室2

I. 【協議事項】

- 役員を選任について承認
- 円滑な事業運営について(理事会などの年間計画について)承認
- その他承認

II. 【報告事項】

- 令和3年度事業計画について(各職能委員会・各地区理事)
- 日本看護協会報告
- 県内関連団体会議参加報告
- 会員数について
- その他

和歌山県
看護協会の
動き